

Let's give it a try!	解答例
<p>1. 目的に応じたリスニング①～⑤の中から、自身のリスニング向上に効果的と思う練習ないしは練習の組み合わせについて話し合いなさい。</p>	<p>【組み合わせ】</p> <p>③多聴 (extensive listening) と④反応的・相互作用的聞き取り (responsive listening, interactive listening)</p> <p>【理由】</p> <p>日常生活において、友人や家族との会話、ニュース、テレビ番組、公共の場（電車内やお店等）のアナウンスなど、聴解が求められる場面は幅広い。日頃から多様な状況・場面・目的において、概略や要点を聞き取る練習を行う必要があるため、③は重要である。④については、聞くことと話すことを統合的に活用して、聞いた内容を伝達したり、相手が話した内容に反応したりするなど、実際のコミュニケーション活動に直結する練習を行う必要性を感じているからである。</p> <p>* 話し合いを通して、(話し合いの) 相手の練習方法で参考になった点や、相手からもらった自身の学習方法へのコメント・アドバイス等についてまとめると良い。</p>
<p>2. 以下の a と b の意味を表すには、以下の英文をどのように発話したら良いか。韻律の特徴に触れながら話し合いなさい。</p> <p>• I need to apologize to her.</p> <p>a. 彼女に謝らなきゃ。</p> <p>b. 私が彼女に謝らなきゃ。</p>	<p>a. I <u>need</u> to ap<u>o</u>logize to her.</p> <p>b. I <u>need</u> to ap<u>o</u>logize to her.</p> <p>a の意味を表す際は、need と apologize の ‘o’ の部分にアクセントを置き（強く目立たせて言い）、b の意味では、I と apologize の ‘o’ の部分にアクセントを置いて言う。</p>